

ここでは、安全な作業と機械をいつまでもお使いいただく上で特に重要なポイントをまとめてあります。よく読んで安全、快適な作業にお役立て下さい。



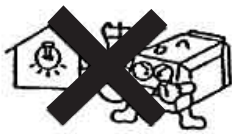
## ■取扱説明書

取扱説明書をよく読んで、正しく、安全にお使い下さい。また他人に貸したり、使用させる場合は、取り扱いをよく説明し、あらかじめ「取扱説明書」を読むよう必ず指導して下さい。



## ■周波数と電圧を確かめて

使用周波数や電圧をまちがえると、発電機や負荷が故障する事があります。運転前に必ず確かめて下さい。



## ■屋内配線への接続は厳禁

屋内配線への接続は、法規に触れるだけでなく、感電事故や発電機破損の原因となり大変危険です。絶対におやめ下さい。



## ■必ず接地して下さい

漏電事故防止のため、必ず漏電遮断器接地端子及び、機械外箱を接地してから運転して下さい。



## ■感電に注意

運転中は出力端子には絶対に触らないで下さい。特に手が濡れている時は大変危険です。結線などの為、端子部に触れるときは、一旦機械を止めて下さい。



## ■接続は確実に

傷んだケーブルや、接続ネジの締付が不十分ですと、機械を破損したり、感電の原因となります。ケーブルの傷みは修理し、確実に接続ネジを締め付けて下さい。



## ■火災事故防止の為に

燃料、オイルなどは可燃物です。機械に火気を近づけたり、給油時のくわえタバコや、運転中の給油は絶対におやめ下さい。また周辺に燃えやすい物を置かないで下さい。



## ■過負荷に注意

過負荷運転は、機械の寿命を著しく短くします。容量、性能に見合った負荷でお使い下さい。また、溶接負荷と交流負荷の同時使用はできません。(詳しくは本書にあります)



## ■機械は水平に

床面のしっかりした水平な所に置いて下さい。また、周辺1m以内には障害物が無いようにして下さい。



## ■雨中使用禁止

雨の中では使用しないで下さい。また、ホース等で直接水をかけないで下さい。感電事故や機械故障の原因となります。



## ■異常時には直ちに停止

音、振動、熱、煙、においなど異常を発見したら直ちに運転を止め、原因を取り除いて下さい。



## ■点検・整備は万全に

内部のホコリや湿度を取り除き、常に機械はキレイにしておいて下さい。また、取扱説明書をよく読んで、保守・点検は万全に行ってください。



## ■換気に注意

エンジンの排気ガス及び、溶接で発生するガスは人体に有害です。トンネル、屋内など通気の悪い場所で運転するときは、十分な換気を行ってください。また、通行人、民家などに換気が向かないようにして下さい。中毒、火災事故の原因となります。